

子どもの 発達段階と 親のかかわり方



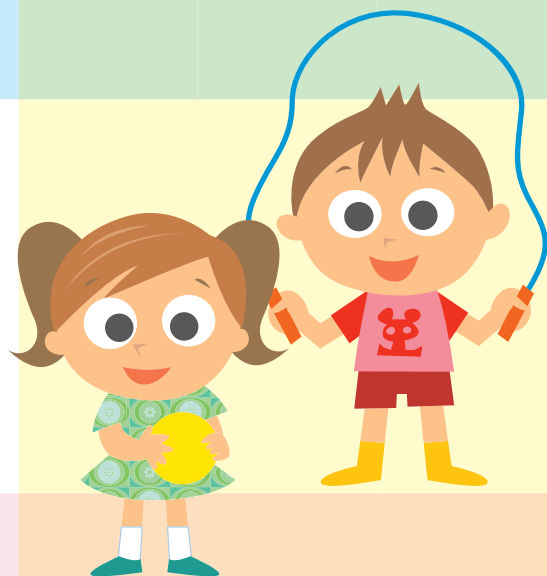


子どもの発達段階と 親のかかわり方

1・2年生

今はこんな時期

- 親のすることを見て自分の行動を決めようとします。
- いろいろなことに興味や関心を持ち、自分の欲求がどんどんふくらんでくる時期です。
- 集団の中で、自己中心的な考えをとおそうとして、けんかになることがあります。
- 学校生活や友達との遊びをとおして、社会のルールを身につけます。



親として心がけたいこと

- 自分の身の回りのことは、自分でできるようにながしましょう。また、うまくできないことも多いので、叱らずに子どもの活動をあたたかく見守りましょう。
- 認められたいという気持ちが強いので、親が心からほめてあげることと喜んで取り組みます。
- 学校のこと、友達のこと等、子どもの話をたくさん聞きましょう。

3・4年生

- 知的な発育がいちじるしく、好奇心も旺盛になり、行動範囲が広がってきます。
- 親への依存から脱却しはじめ、口答えや反抗が少しずつ見られます。
- 男子・女子としての意識が芽生え、男子は特に仲間関係が広がりたくさんの集団の中で遊ぶようになります。女子も集団遊びを好みますが、その相手は少数で密度の濃い関係を作りたがるようになります。



- 基本的な生活習慣の定着のため、家族全員で生活を見直し、ルールになっているところは改善していきましょう。
- 理屈を言って反抗するときは、順をおって納得させながら話し合うことが大切になります。
- 計画的にお金を使うことも大切な学習です。おこづかいは、使い道をアドバイスしながら子どもに任せてみましょう。





5・6年生

- 身体の発育がいちじるしく、大人になる準備が始まり、思春期に入りはじめます。
- 友だちと同じ服装や言葉づかいをしたがります。
- 大人並みに考えることができ、親、教師、友だちの他者批判が強くなります。
- 集団としての連帯感が強くなり、親より友達とのかかわりを大切にします。



- 基本的な生活習慣の仕上げです。生活リズム、テレビやゲームの時間など、自分でコントロールできる力を育てていきましょう。
- 友だちとのちがいがいも気になりだし、不安を抱えるときでもあるので、自分の良さに気づかせ自信を持たせましょう。
- 任せられる仕事もふえますので、家事を分担し責任感や自立心を育てていきましょう。

中学生

- 急激に成長する時期ですが、精神的には不安定です。心の成長が身体の成長に追いつかず、行動をうまく制御できないことがあります。
- 周りからどう見られているか気になり、服装・髪型などの容姿を過剰に気にするようになります。
- 友だちに対して、親に言えない悩みを打ち明けたり、自分の将来や夢について相談したりできる心の友を求めるようになります。



- 小学生までのように、なんでも言うことを聞くことの方がまれます。口やかましく言ったり手をかけたりせず、子どもを信頼し、やるべきことは何かを考えさせ、自分で判断させましょう。
- 子どもの自主性に任せることは大切ですが、「ダメなものはダメだ」という家庭内のルールはきちんと決めて守らせましょう。
- 子どもが『親ばなれをする時期』になっていることをしっかり理解し、保護者から、信頼できる人生の先輩として変化することが必要です。

